

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●朝日杯フューチュリティSはジャンタルマンタルが優勝

12月17日(日)に行われた朝日杯フューチュリティS(G I)では、新馬戦、デイリー杯2歳Sと2戦2勝のジャンタルマンタル(牡2歳/栗東・高野友和厩舎)が優勝しました。無敗のままの同レース制覇は3年連続で、グレード制が導入された1984年以降では通算18回目のこととなります。

●野畑凌騎手がJRA初勝利をあげる

12月16日(土)の5回中山5日・第7レースとして行われた2023ヤングジョッキーズシリーズファイナルラウンド中山第1戦ではラエールが1着となり、同馬に騎乗した野畑凌騎手(川崎・佐藤博紀厩舎)は、JRA初勝利(3戦目)をあげました。

●津村明秀騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

12月16日(土)の5回中山5日・第11レースとして行われたターコイズS(G III)でアナザーリリックに騎乗した津村明秀騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上44人目、現役では28人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

●2023ヤングジョッキーズシリーズは横山琉人騎手が優勝

JRAと地方競馬の若手騎手16名が腕を競った「2023ヤングジョッキーズシリーズ」の全日程が終了し、横山琉人騎手(美浦・相沢郁厩舎)が12月14日(木)のファイナルラウンド川崎で3着、4着、16日(土)のファイナルラウンド中山では4着、1着となつて計69ポイントを獲得、56ポイントの田口貫太騎手(栗東・大橋勇樹厩舎)以下を抑えてチャンピオンに輝きました。

●松田大作騎手が引退

12月17日(日)付で松田大作騎手(栗東・フリー)が引退しました。JRA通算成績は8924戦500勝でした。

●ダンシングプリンスの競走馬登録抹消

2022年JBCスプリント(Jpn I)などの勝ち馬ダンシングプリンス(牡7歳/美浦・宮田敬介厩舎/JRA通算9戦5勝・地方5戦2勝・海外2戦1勝)は、11月8日(水)付で競走馬登録を抹消されました。今後は北海道新ひだか町のレックススタッドで種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ディクテオンが名古屋グランプリ(名古屋)をレコード勝ち

名古屋グランプリ(Jpn II、12月21日、名古屋、2100m)は、中団から追い上げた2番人気のディクテオン(岡部誠騎手=愛知、驕5歳、父キングカメハメハ)が4コーナー手前で抜け出し、1番人気のグランプリッジに2馬身差を付けてレコード勝ち。テリオスベルが3着、メイショウフンジンが5着、逃げた3番人気のミトノオーは9着に沈んでいます。

●サンライズホークが兵庫ゴールドT(園田)でJpn III 2連勝

兵庫ゴールドトロフィー(Jpn III、12月20日、園田、1400m)は、2番手から4コーナーで先頭に立った2番人気のサンライズホーク(ミルコ・デムーロ騎手、驕4歳、父リオンディーズ)が、トップハンデ59.5kgのケイアイドリーを3/4馬身抑え、サマーチャンピオンに続いてJpn IIIを連勝。3番人気のマルモリスペシャルは4着、1番人気に推されたセキフウは5着に敗れました。

●ローレル賞は無敗のミスカッラーラ【各地の主要2歳重賞】

ローレル賞(11月7日、川崎、1600m、牝馬)は、2番手を追走したミスカッラーラ(父シニスターミニスター)が直線に入って間もなく抜け出し、単勝1.7倍の支持に応じてデビュー以来無傷の3連勝。ラブミーチャン記念(11月9日、笠松、1600m、牝馬)は、逃げた単勝1.8倍で断然人気の北海道からの遠征馬ヴィヴィアンエイト(父フリオーソ)が後続に2馬身差を付け、プロッサムCに続く重賞2連勝を達成しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●オーストラリアの名手ダミアン・オリヴァー騎手が引退

オーストラリアを代表する騎手のひとりであり、2008年にはオーストラリア競馬の殿堂入りも果たしたダミアン・オリヴァー騎手(51歳)が現地12月16日に故郷である西オーストラリア州パースにあるアスコット競馬場で現役最後の日を迎え、ラスト騎乗となったG3ダミアンオリヴァーゴールドラッシュを含む3連勝(第7~9レース)でそのキャリアを締めくくりました。オリヴァー騎手はこれまで3000を超す勝ち星を積み重ね、ヴィクトリア州(メトロポリタン)の首位騎手に輝くこと10回。G1は計129勝で、オーストラリアでの125勝は史上最多。その中にはドリーマス(1995年)、メディアパズル(2002年)、フィオレンテ(2013年)であげた3度のメルボルンC制覇も含まれています。JRA通算22勝。

●2024年のアメリカG1は4レース減の93レース

12月16日にアメリカグレードステークス委員会から2024年のアメリカにおける重賞リストが発表され、G1レースは前年から4レース減の93レースとなりました。G2からG1に昇格となったのはフランクリンシンプソンS(3歳、芝1300m)の1つだけで、ケンタッキーダウンス競馬場(ケンタッキー州)では初のG1レースとなりました。なお、G1からG2に降格となったのはカーターH、マンノウォーS、ビヴァリーD.S、ユナイテッドネーションズS、そしてハリウッドゴールドCの5つです。